

社会福祉法人武蔵野遼園  
特別養護老人ホーム けやきの苑 様

## 一 衛生調査結果報告書 一



東京都中央区京橋1-2-5京橋Tビル5F  
TEL03-3272-1530、FAX03-3272-1540

東京支社技術部 佐藤 直紀

拝啓

貴社ますます御繁栄の事とお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

昨年8月末御施設厨房で拭取り検査を実施しましたが再度、2008年2月末施設内全体を拭取り検査を実施いたしましたのでご報告させていただきます。

尚、ご不明な点がありましたら弊社までご連絡ください。

敬具

検査日	平成20年2月27日(水)
検査場所	特別養護老人ホーム けやきの苑施設内全体(1階、2階、3階)
検査目的	現在、施設内で行われている一般的な清掃を実施していますが電解水による清掃方法を菌数基準にして比較する。電解水による除菌効果を実証して、今後の施設に活用していただきたいと思っております。今回は検査を委託した財団法人東京顕微鏡院です。
検査箇所	施設内21箇所及び人体の手1箇所計22箇所
比較条件	I. 施設式清掃前採取(現状の状態) II. 電解水清掃後採取 * 市販のアルコール製剤との比較。(実際にけやきの苑様にて毎日清掃している洗剤) * 電解水はけやきの苑様で実際に使用しているアルカリ性水、酸性水を個々に噴霧し使用。(当日アルカリ性水12.00pH、酸性水2.85pH)
検査項目	①一般生菌 ②大腸菌群 ③黄色ブドウ球菌
実験方法	①ふき取りキット*1を用いて各ポイント概ねふき取り、これを試料原液とした。 ②試料原液0.1ml・1ml滴下し、35±1℃培養、20時間～48±3時間培養時間。 ③培養後、コロニー数をカウントする。財団法人東京顕微鏡院にて検査を依頼する。
目次	1. 検査参考資料 2. 検査結果(尚、写真の一部は重複したり調査場所が前後しています。) 3. まとめ ※参考資料等

- \* 1 ふきとりキット Pro-media ST-25(滅菌希釈液入り 拭取り検査キット)
- \* 2 検査、実験結果報告書は財団法人東京顕微鏡院に依頼、別冊参照
- \* 3 試験方法は食品衛生検査指針2004年度、微生物編による
- \* 4 拭取り検体の専用容器を十分に混和(25回以上振とう)し綿棒部分を容器内でよく絞る、これを試料原液とする

# 1. 検査参考資料

## 使用培地

\* 財団法人東京顕微鏡院実施要項(食品衛生検査指針・微生物編2004)

標準寒天培地/一般生菌用  
 テリキョーレイト寒天培地(混釈)/大腸菌群用  
 卵黄加マンニット食塩寒天培地/黄色ブドウ球菌用

## 培養条件・判定基準

微生物	培地	培養温度	培養時間	判定方法
一般生菌	標準寒天培地	35±1°C	48±3時間	培養後、出現集落を測定後細菌数(生菌数)の算定。
大腸菌群	テリキョーレイト寒天培地	35±1°C	20±2時間	培養後、定型的集落測定後、赤色集落計測、EMB寒天培養地、鑑別後結果判定。
黄色ブドウ球菌	卵黄色マンニット食塩寒天培地	35±1°C	48±3時間	培養後、定型的集落計測、普通寒天培地後コアグラッセ試験、グラム染色(鏡検)後判定。

## 検査菌種の定義

### 1) 一般生菌

一定条件下で発育する中温性好気性菌のことで、通常標準寒天培地を用いて35°C48時間培養後に測定される発生集落数から算定されます。これは自然界に存在するほとんどの菌のことを言い、食中毒菌から人に無害な菌まで含まれます。

(弊社社内資料参考)

### 2) 大腸菌群

大腸菌群にはグラム陰性の腸内細菌や病原大腸菌、サルモネラ菌などの食中毒菌が含まれており、食品製造環境における汚染指標菌と考えることができます。効果的な洗浄殺菌がなされ、適切に保管されていれば機械、器具類から検出されることはありません。また、大腸菌群は皮膚に定着することはなく、この種の細菌が手指から検出されることは、生の食材やその他の汚染物から細菌が手に移行して、それほど時間が経過していないことを示すものです。効果的な手洗いを適切に実施すれば、大腸菌群は完全に除去することができます。手洗い後にこの菌が検出された場合は、手洗いが不十分であったといえます。さらに、加熱済み食品から検出された場合は、不適当な加熱調理や二次汚染など食品取り扱いの不備を示します。

(弊社社内資料参考)

### 3) 黄色ブドウ球菌

ブドウ球菌は、人や動物をはじめ自然界に広く分布し、健康な人でも鼻腔や鼻前庭、腸管内、頭髮手指などに保菌しています。黄色ブドウ球菌による食中毒は、食品中で増殖し、その際に産生するエンテロトキシンという毒素によって発症し、産生された毒素は通常の加熱では不活性化されません。黄色ブドウ球菌の食品汚染には人や動物が関与し、特に調理人の手指を介して食品や調理器具を汚染する機会が常に存在していることがうかがわれます。また、生鮮の魚肉からも検出される例があるため、原材料からの汚染も存在していると考えなくてはなりません。

(新改変ブドウ球菌簡易検出紙(使い方とその評価について)参考)

## 評価基準

財団法人東京顕微鏡院では清掃前、清掃後における箇所につきまして以下の基準を設定しています。(各検査企業により数値は統一されてません。)

判定	一般生菌数(/g or ml)	大腸菌群	黄色ブドウ球菌
良	< 300/ml	陰性	陰性
不良	0.0X10 <sup>0</sup> /ml	0.0X10 <sup>0</sup> /ml	0.0X10 <sup>0</sup> /ml

\* 上記3つの菌種のうち1つが基準値を超えた場合に不良とする。食品衛生検査指針2004年度、微生物編にもとづく

## 2007年5月19日けやきの苑様にて使用している洗剤使用状況

製品名	ブルーL	プロバイオクリーン	ハイター	アルベット	テターファイン	テターブライト	シャボネット	水
会社名	(ティホール社製)	(ティホール社製)	(ティホール社から購入)	(サラヤ製品)	(ティホール社製)	(ティホール社製)		
属性	アルキル系 中性	アルキル系 中性	次亜塩素酸トリウム アルカリ性	アルコール	カルボン系 アルカリ性	アルカリ性	イソプロピルフェノール	
器具類仕様用途箇所	食器・器具類 (ホール・バット他) 加熱できる製品 スポンジ、ふきん 冷蔵庫掃除	食器・器具類 (包丁・ミキサー カッター・自助具他) 加熱できない 製品	スポンジ・タオル ふきん 茶渋など漂白 が必要な食器	器具・機械 食器・台・容器 取っ手・扉等 配膳車・台車 厨房全般	強化磁器 メラミン食器 トレイ類 食食用食器類	ステンレス器具類 茶渋など漂白 が必要な食器	手指消毒	雑巾

\* 実際にけやきの苑様で使用している洗剤です。

## 2. ふき取り検査結果NO.1

場所	No.	ふき取り箇所	備考	画像	一般生菌 (/g or ml)	大腸菌群	黄色ブドウ球菌	判定
1 施設2階	1	特養職員用トイレ ドアノブ	電解水清掃前		<300	陰性	陰性	良
			電解水清掃後		<300	陰性	陰性	良
2 施設2階	2	特養車椅子トイレ 手洗い蛇口女性	電解水清掃前		<300	陰性	陰性	良
			電解水清掃後		<300	陰性	陰性	良

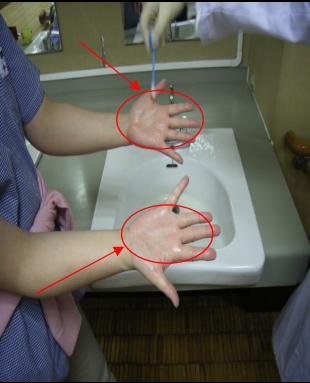

採取箇所	1 特養職員用トイレ ドアノブ
現状の 清掃方法 及び効果	職員用トイレは施設内従業員の方が頻繁に使用されドアノブは全体に手で触れられています。今回は特に問題が無いと思われます。トイレ使用後は手洗いがされ通常の清掃もしっかり実施されていると思われる。
電解水 による効果	スプレーボトルにそれぞれアルカリ性水、酸性水を入れて噴霧。アルカリ性水9～15ml噴霧しすぐにペーパータオルにて拭取る。次に酸性水9ml～15ml噴霧し90秒間放置しペーパータオルにて拭取る。今回は混合水での噴霧はせずに別々で行う。特に問題は無いですが本来は酸性水の後水で再度噴霧するのが望ましい。

採取箇所	2 特養車椅子トイレ 手洗い蛇口女性
現状の 清掃方法 及び効果	主に女性が中心でトイレ使用していますが、手洗い蛇口がレバー式なので通常のヒネルタイプでは無い為手の甲でも使えますがまずは通常の清掃もしっかり実施されていると思われる。今回は特に問題無いと思われます。
電解水 による効果	スプレーボトルにそれぞれアルカリ性水、酸性水を入れて噴霧。今回は別々に噴霧している為噴きかける量も多く90秒間放置して為特に問題は無いと思われます。酸性水拭取り後水で再度噴霧するのが望ましい。

場所	No.	ふき取り箇所	備考	画像	一般生菌 (/g or ml)	大腸菌群	黄色ブドウ球菌	判定
3 施設2階	3	特養車椅子トイレ開閉 ボタン上下 男性	電解水清掃前		<300	陰性	陰性	良
			電解水清掃後		<300	陰性	陰性	良
4 施設2階	4	特養食堂手洗い場蛇口 (右側)温水 冷水	電解水清掃前		<300	陰性	陰性	良
			電解水清掃後		<300	陰性	陰性	良



採取箇所	3 特養車椅子トイレ開閉ボタン上下(男)
現状の 清掃方法 及び効果	利用者の方がトイレに入り閉める際に触れるボタンです。現状の清掃、消毒に問題無いと思われます。
電解水 による効果	スプレーボトルにそれぞれアルカリ性水、酸性水を入れて噴霧。今回は別々に噴霧している為噴きかける量も多く90秒間放置してる為特に問題は無いと思われます。酸性水拭取り後水で再度噴霧するのが望ましい。噴きかける面積が大きい場合は別々に噴霧することが望ましいと思われます。

採取箇所	4 特養食堂手洗い場蛇口(右側)温水、冷水
現状の 清掃方法 及び効果	入居者の方が頻繁に利用されます。大勢の方が使用されていますが蛇口の形がレバー式なので手に触れる面積が少ないと思われます。現状の清掃、消毒に問題無いと思われます。
電解水 による効果	スプレーボトルにそれぞれアルカリ性水、酸性水を入れて噴霧。今回は別々に噴霧している為噴きかける量も多く90秒間放置してる為特に問題は無いと思われます。蛇口がひねるタイプですと凹凸面があり噴霧しても一部噴きかけが足りない箇所がある為レバー式の蛇口が望ましい。

場所	No.	ふき取り箇所	備考	画像	一般生菌 (/g or ml)	大腸菌群	黄色ブドウ球菌	判定
5 施設2階	5	職員の手 (中村課長)	電解水清掃前		<300	陰性	陰性	良
			電解水清掃後		<300	陰性	陰性	良
6 施設2階	6	車椅子アームレスト (M氏右側肘掛け)	電解水清掃前		$2.4 \times 10^3$	陰性	陰性	不良
			電解水清掃後		<300	陰性	陰性	良



採取箇所	5 職員の手(中村課長)
現状の清掃方法及び効果	実際の人体手の平です。特に菌体も見られず常に手の消毒がされている。特に問題無いと思われます。今後も手洗いを頻繁にする事をお奨めします。
電解水による効果	毎回アルカリ性水、酸性水を噴霧しての処理は時間がかかる為混合水による噴霧でも問題無いと思われます。本来なら浅いバケツにアルカリ性水、酸性水に手を浸し流水の水で処理するのが望ましい。

採取箇所	6 車椅子アームレスト(M氏右側肘掛け)
現状の清掃方法及び効果	現状では朝起きてから夜寝るまで使われる車椅子ですが常に肘掛けを触る為一般生菌が付着していると思われる。これは施設内入居者の方が殆ど使用されている車椅子なので今後は1台ずつ電解水による清掃、消毒が望ましいと思われます。時間を決めて日に1~2回清掃をお願いします。左側肘掛も同様に清掃をお勧めします。
電解水による効果	スプレーボトルにそれぞれアルカリ性水、酸性水を入れて噴霧。アルカリ性水9~15ml噴霧しすぐにペーパータオルにて拭取る。次に酸性水9ml~15ml噴霧し90秒間放置しペーパータオルにて拭取る。清掃後の一般生菌が減少している。電解水による除菌効果は十分にあると思われる。

場所	No.	ふき取り箇所	備考	画像	一般生菌 (/g or ml)	大腸菌群	黄色ブドウ球菌	判定
7 施設2階	7	車椅子ハンドリム (M氏右側)	電解水清掃前		$8.0 \times 10^2$	陰性	陰性	不良
			電解水清掃後		<300	陰性	陰性	良
8 施設2階	8	一般浴室脱衣所床	電解水清掃前		$1.2 \times 10^4$	陰性	陰性	不良
			電解水清掃後		$1.2 \times 10^4$	陰性	陰性	不良

採取箇所	7 車椅子ハンドリム(M氏右側)
現状の清掃方法及び効果	施設の方が毎日利用されています。⑥の肘掛より一般生菌が付着しています。車の操作にハンドリムを使用する為だと思われる。又、少しの方向転換にも使用される為使用する頻度は高いと思われる。左側も同様に一般生菌が付着されていると思われる。
電解水による効果	スプレーボトルにそれぞれアルカリ性水、酸性水を入れて噴霧。アルカリ性水9~15ml噴霧しすぐにペーパータオルにて拭取る。次に酸性水9ml~15ml噴霧し90秒間放置しペーパータオルにて拭取る。清掃後の一般生菌が減少している。電解水による除菌効果は十分にあると思われる。

採取箇所	8 一般浴室脱衣所床
現状の清掃方法及び効果	大勢の入居者の方が使用される場所です。直接足で触れている為ヘルパーの方も同様です。一般生菌が多く付着されています。清掃、消毒が若干実施されていないかと思われます。
電解水による効果	清掃前、清掃後の一般生菌が同じ数値です。写真では見にくいですが床全体に凹凸があります。アルカリ性水、酸性水を噴霧するだけでは量が少ないと思われます。又、時間経過により菌が浮出しているかと思われます。今後は噴霧ではなく大量の流水での使用をお勧めいたします。アルカリ性水、酸性水、水の順番です。


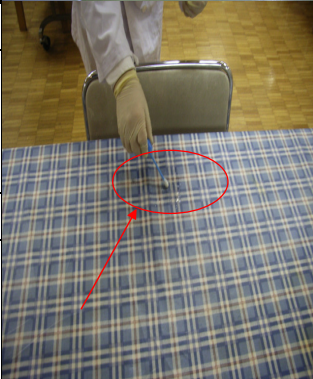
場所	No.	ふき取り箇所	備考	画像	一般生菌 (/g or ml)	大腸菌群	黄色ブドウ球菌	判定
9 施設2階	9	浴室洗面台 取手	電解水清掃前		$5.2 \times 10^4$	陰性	陰性	不良
			電解水清掃後		<300	陰性	陰性	良
10 施設3階	10	3階特養汚物室 洗面台蛇口	電解水清掃前		<300	陰性	陰性	良
			電解水清掃後		<300	陰性	陰性	良

採取箇所	9 浴室洗面台取手
現状の 清掃方法 及び効果	直接手で触る機会が多く一般生菌が付着されていると思われます。清掃、消毒が若干実施されていないと思われます。一度に多くの方が利用される為一人が触れる度に他の方も触れる為菌体数が多いと思われます。
電解水 による効果	スプレーボトルにそれぞれアルカリ性水、酸性水を入れて噴霧。アルカリ性水9～15ml噴霧しすぐにペーパータオルにて拭取る。次に酸性水9ml～15ml噴霧し90秒間放置しペーパータオルにて拭取る。清掃後の一般生菌が減少している。電解水による除菌効果は十分にあると思われる。直接人の手に触れる場所なので最後に水のすすぎをお勧めします。

採取箇所	10 3階特養汚物室洗面台蛇口
現状の 清掃方法 及び効果	上下に動作が出来る蛇口です。ひねるタイプでは無い為指だけでなく手の甲でも利用出来ます。特に現状の清掃方法に問題ないと思われます。
電解水 による効果	スプレーボトルにそれぞれアルカリ性水、酸性水を入れて噴霧。アルカリ性水9～15ml噴霧しすぐにペーパータオルにて拭取る。次に酸性水9ml～15ml噴霧し90秒間放置しペーパータオルにて拭取る。今回は混合水での噴霧はせずに別々で行う。特に問題は無いですが本来は酸性水の後水で再度噴霧するのが望ましい。





## 2. ふき取り検査結果NO.2

場所	No.	ふき取り箇所	備考	画像	一般生菌 (/g or ml)	大腸菌群	黄色ブドウ球菌	判定
11 施設1階	11	デイ食堂カウンター まわり冷蔵庫取手	電解水清掃前		$6.0 \times 10^2$	陰性	陰性	不良
			電解水清掃後		<300	陰性	陰性	良
12 施設1階	12	デイ食堂テーブル (入 口手前)	電解水清掃前		<300	陰性	陰性	良
			電解水清掃後		<300	陰性	陰性	良

採取箇所	11 デイ食堂カウンターまわり冷蔵庫取手
現状の 清掃方法 及び効果	清掃前一般生菌数の値が若干ありますが現状の清掃方法に問題ないと思われる。頻繁に不特定の方が開閉している為頻繁に清掃する事をお勧めいたします。
電解水 による効果	スプレーボトルにそれぞれアルカリ性水、酸性水を入れて噴霧。アルカリ性水9～15ml噴霧しすぐにペーパータオルにて拭取る。次に酸性水9ml～15ml噴霧し90秒間放置しペーパータオルにて拭取る。清掃後の一般生菌が減少している。電解水による除菌効果は十分にあると思われる。


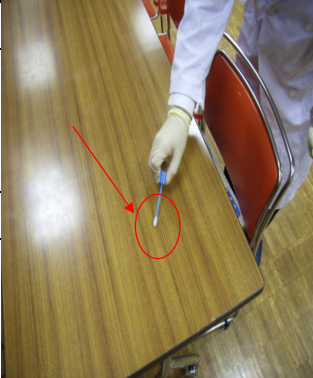
採取箇所	12 デイ食堂テーブル(入口手前)
現状の 清掃方法 及び効果	現状の清掃方法で問題ないと思われる。常に汚れたら拭き掃除を実施している為。
電解水 による効果	スプレーボトルにそれぞれアルカリ性水、酸性水を入れて噴霧。アルカリ性水9～15ml噴霧しすぐにペーパータオルにて拭取る。次に酸性水9ml～15ml噴霧し90秒間放置しペーパータオルにて拭取る。混合水でも除菌効果は充分にあると思われる。



場所	No.	ふき取り箇所	備考	画像	一般生菌 (/g or ml)	大腸菌群	黄色ブドウ球菌	判定
13 施設1階	13	デイ食堂水切りかご	電解水清掃前		$1.1 \times 10^5$	陰性	陰性	不良
			電解水清掃後		$4.1 \times 10^2$	陰性	陰性	不良
14 施設1階	14	デイ食堂カウンターまわりシンク(左)	電解水清掃前		<300	陰性	陰性	良
			電解水清掃後		<300	陰性	陰性	良



採取箇所	13 デイ食堂水切りかご
現状の清掃方法及び効果	生ゴミや食べ残しを一時保管する為一般生菌数がかかなり多く付着している。消毒が若干実施されていなくかご自体の清掃がなされていないと思います。
電解水による効果	スプレーボトルにそれぞれアルカリ性水、酸性水を入れて噴霧。アルカリ性水9～15ml噴霧しすぐにペーパータオルにて拭取る。次に酸性水9ml～15ml噴霧し90秒間放置しペーパータオルにて拭取る。清掃後の一般生菌が減少している。電解水による除菌効果は十分にあると思われる。アルカリ性水、酸性水それぞれ付け置きし後流水での処理を勧めます。

採取箇所	14 デイ食堂カウンターまわりシンク(左)
現状の清掃方法及び効果	現状の清掃方法で問題ないと思われる。特に問題ありません。
電解水による効果	スプレーボトルにそれぞれアルカリ性水、酸性水を入れて噴霧。アルカリ性水9～15ml噴霧しすぐにペーパータオルにて拭取る。次に酸性水9ml～15ml噴霧し90秒間放置しペーパータオルにて拭取る。

場所	No.	ふき取り箇所	備考	画像	一般生菌 (/g or ml)	大腸菌群	黄色ブドウ球菌	判定
15 施設1階	15	デイほの休憩室 ポット(口)	電解水清掃前		<300	陰性	陰性	良
			電解水清掃後		<300	陰性	陰性	良
16 施設1階	16	デイ活動部屋テーブル	電解水清掃前		<300	陰性	陰性	良
			電解水清掃後		<300	陰性	陰性	良

採取箇所	15 デイほの休憩室ポット(口)
現状の 清掃方法 及び効果	特に清掃、消毒は頻繁に行っていないと思われませんが現状清掃方法で問題ないと思われま
電解水 による効果	スプレーボトルにそれぞれアルカリ性水、酸性水を入れて噴霧。アルカリ性水9~15ml噴霧しすぐにペーパータオルにて拭取る。次に酸性水9ml~15ml噴霧し90秒間放置しペーパータオルにて拭取る。混合水による除菌効果も充分にあると思われま

採取箇所	16 デイ活動部屋テーブル
現状の 清掃方法 及び効果	現状の清掃方法で問題ないと思われる。⑫番のテーブルと同様で常に汚れたら拭き掃除を実施している為、特に問題ないと思われま
電解水 による効果	スプレーボトルにそれぞれアルカリ性水、酸性水を入れて噴霧。アルカリ性水9~15ml噴霧しすぐにペーパータオルにて拭取る。次に酸性水9ml~15ml噴霧し90秒間放置しペーパータオルにて拭取る。混合水による除菌効果も充分にあると思われま

場所	No.	ふき取り箇所	備考	画像	一般生菌 (/g or ml)	大腸菌群	黄色ブドウ球菌	判定
17 施設1階	17	リハビリオレンジ椅子 (座面)	電解水清掃前		<300	陰性	陰性	良
			電解水清掃後		<300	陰性	陰性	良
18 施設1階	18	東側トイレ取手女性	電解水清掃前		<300	陰性	陰性	良
			電解水清掃後		<300	陰性	陰性	良

採取箇所	17 リハビリオレンジ椅子(座面)
現状の清掃方法及び効果	現状の清掃方法で問題ないと思われる。直接皮膚が触れない部分(座面中心部)だと思われます。
電解水による効果	スプレーボトルにそれぞれアルカリ性水、酸性水を入れて噴霧。アルカリ性水9～15ml噴霧しすぐにペーパータオルにて拭取る。次に酸性水9ml～15ml噴霧し90秒間放置しペーパータオルにて拭取る。混合水による除菌効果も充分にあると思われます。金属部分も清掃をお奨め致します。その際は水にて最後処理してください。

採取箇所	18 東側トイレ取手(女)
現状の清掃方法及び効果	東側トイレは施設内従業員の方と一般客が頻繁に使用されドアノブは全体に手で触られています。今回は特に問題が無いと思われます。トイレ使用後は手洗いがされ通常の清掃もしっかり実施されていると思われる。
電解水による効果	スプレーボトルにそれぞれアルカリ性水、酸性水を入れて噴霧。アルカリ性水9～15ml噴霧しすぐにペーパータオルにて拭取る。次に酸性水9ml～15ml噴霧し90秒間放置しペーパータオルにて拭取る。今回は混合水での噴霧はせずに別々で行う。特に問題は無いですが本来は酸性水の後水で再度噴霧するのが望ましい。

場所	No.	ふき取り箇所	備考	画像	一般生菌 (/g or ml)	大腸菌群	黄色ブドウ球菌	判定
19 施設1階	19	正面玄関内手すり	電解水清掃前		$1.0 \times 10^3$	陰性	陰性	不良
			電解水清掃後		<300	陰性	陰性	良
20 施設2階	20	2階食堂テーブル	電解水清掃前		<300	陰性	陰性	良
			電解水清掃後		<300	陰性	陰性	良

採取箇所	19 正面玄関内手すり
現状の清掃方法及び効果	施設に出入りされるサービス利用者の方が多く触られます。若干清掃前一般生菌数が見られますが現状の清掃方法に問題ないと思われま
電解水による効果	スプレーボトルにそれぞれアルカリ性水、酸性水を入れて噴霧。アルカリ性水9～15ml噴霧しすぐにペーパータオルにて拭取る。次に酸性水9ml～15ml噴霧し90秒間放置しペーパータオルにて拭取る。清掃後一般生菌数の数値が減少している為除菌効果は充分にある。

採取箇所	20 2階食堂テーブル
現状の清掃方法及び効果	施設に入居されている方が毎日、毎食テーブルを利用されています。毎回使用される度にテーブルを拭くのは日常でも当たり前になっています。現状の清掃方法に問題ないと思われま
電解水による効果	スプレーボトルにそれぞれアルカリ性水、酸性水を入れて噴霧。アルカリ性水9～15ml噴霧しすぐにペーパータオルにて拭取る。次に酸性水9ml～15ml噴霧し90秒間放置しペーパータオルにて拭取る。混合水による除菌効果も充分にあると思われま

## 2. ふき取り検査結果NO.3

場所	No.	ふき取り箇所	備考	画像	一般生菌 (/g or ml)	大腸菌群	黄色ブドウ球菌	判定
21 施設2階	21	2階エレベーター ボタン(下)	電解水清掃前		<300	陰性	陰性	良
			電解水清掃後		<300	陰性	陰性	良
22 施設2階	22	2階階段非常扉裏側 取手(真中)	電解水清掃前		<300	陰性	陰性	良
			電解水清掃後		<300	陰性	陰性	良

採取箇所	21 2階エレベーターボタン(下)
現状の 清掃方法 及び効果	施設従業員の方が多く使用されて一般の入居者の方はあまり使用されていません。現状の清掃方法に問題無いと思われます。
電解水 による効果	スプレーボトルにそれぞれアルカリ性水、酸性水を入れて噴霧。アルカリ性水9～15ml噴霧しすぐにペーパータオルにて拭取る。次に酸性水9ml～15ml噴霧し90秒間放置しペーパータオルにて拭取る。混合水による除菌効果も充分にあると思われます。噴霧しすぎるとボタン内部まで浸透してしまい内部電装系統がショートされるので注意してください。

採取箇所	22 2階階段非常扉裏側取手(真中)
現状の 清掃方法 及び効果	施設従業員の方のみしか利用されていなく一般の方は使用されていません。不特定多数の方が使用されてなく現状の清掃方法に問題は無いです。
電解水 による効果	スプレーボトルにそれぞれアルカリ性水、酸性水を入れて噴霧。アルカリ性水9～15ml噴霧しすぐにペーパータオルにて拭取る。次に酸性水9ml～15ml噴霧し90秒間放置しペーパータオルにて拭取る。混合水による除菌効果も充分にあると思われます。錆の心配もありますので酸性水で使用後は水を噴霧してください。

## 【まとめ】

場所	箇所	施設清掃方法	電解水清掃方法	効果	結果
1	施設2階 特養職員用 トイレ/アノ	現状での清掃方法、洗剤 使用状況ご確認ください。	アルカリ性水、酸性水を個々にスプレー ボトルに入れて清掃箇所に噴霧。アルカリ 性水噴霧後はすぐに拭取り酸性水を 噴霧後拭取りを行う。酸：アル＝1：1の 混合水でも効果はあります。噴霧後 は乾いた布で拭取る。	有	清掃前、拭取り後も一般生菌 数の値は変わりはありません が頻繁に使用されるトイレなので 電解水を常備し常に使用され ると良いと考えます。
2	施設2階特養車椅子 トイレ 手洗い蛇口女性	現状での清掃方法、洗剤 使用状況ご確認ください。	アルカリ性水、酸性水を個々にスプレー ボトルに入れて清掃箇所に噴霧。アルカリ 性水噴霧後はすぐに拭取り酸性水を 噴霧後拭取りを行う。酸：アル＝1：1の 混合水でも効果はあります。噴霧後 は乾いた布で拭取る。	有	通常清掃での実施がしっかり 行えています。電解水の使用 でも同様の効果があります。施 設内の方が頻繁に使用されま すので常に電解水での清掃を お奨めします。
3	施設2階特養車椅子 トイレ 開閉ボタン上下男性	現状での清掃方法、洗剤 使用状況ご確認ください。	アルカリ性水、酸性水を個々にスプレー ボトルに入れて清掃箇所に噴霧。アルカリ 性水噴霧後はすぐに拭取り酸性水を 噴霧後拭取りを行う。	有	通常清掃での実施がしっかり 行えています。電解水使用でも 同様の効果があります。頻繁 にボタンを押す事が多いと思い ます。時間を決めて電解水の 清掃をお奨めします。
4	施設2階特養食堂手洗い場蛇口 (右側)温水 冷水	現状での清掃方法、洗剤 使用状況ご確認ください。	アルカリ性水、酸性水を個々にスプレー ボトルに入れて清掃箇所に噴霧。アルカリ 性水噴霧後はすぐに拭取り酸性水を 噴霧後拭取りを行う。	有	通常での清掃がしっかり行えて います。電解水使用でも同様 の効果が見られた。頻繁に施 設の方が触れる機会がありま す。定期的に清掃をお願いします。
5	職員の手(中村課長)	現状での清掃方法、洗剤 使用状況ご確認ください。	スプレーでの噴霧より浅いバケツにアルカ リ性水、酸性水を個々に入れて手洗い し最後に水道水での流水で洗いを行 う。	有	一般生菌の付着も無く常に手 洗いをされていたと思います。 電解水の混合でも良いですが 最後に必ず水道水の流水です すいで下さい。
6	車椅子アームレスト (M氏右側肘掛)	現状での清掃方法、洗剤 使用状況ご確認ください。	アルカリ性水、酸性水を個々にスプレー ボトルに入れて清掃箇所に噴霧。アルカリ 性水噴霧後はすぐに拭取り酸性水を 噴霧後拭取りを行う。ステンレス部分は 必ず乾いた布で拭取る。	有	初期段階より一般生菌が多く 存在していたが電解水処理後 大幅に菌が減少した。
7	車椅子ハンドル (M氏右側)	現状での清掃方法、洗剤 使用状況ご確認ください。	アルカリ性水、酸性水を個々にスプレー ボトルに入れて清掃箇所に噴霧。アルカリ 性水噴霧後はすぐに拭取り酸性水を 噴霧後拭取りを行う。ステンレス部分は 必ず乾いた布で拭取る。	有	初期段階より一般生菌が多く 存在していたが電解水処理後 大幅に菌が減少したことから電 解水での清掃をお奨めします。
8	施設2階一般浴室 脱衣所床	現状での清掃方法、洗剤 使用状況ご確認ください。	清掃する面積が広い為アルカリ性水、 酸性水個々にバケツなどに入れ大量 の電解水で清掃し最後に水で洗い流 してください。	?有	平では無く凹凸があるカーペットです。清 掃前、電解水後も一般生菌数が変化 なく、スプレーボトルでの噴霧では減少し きれないと思われまます。ブラシなど併用 しますと良いと思われれる。
9	施設2階浴室洗面台 取手	現状での清掃方法、洗剤 使用状況ご確認ください。	アルカリ性水、酸性水を個々にスプレー ボトルに入れて清掃箇所に噴霧。アルカリ 性水噴霧後はすぐに拭取り酸性水を 噴霧後拭取りを行う。ステンレス部分は 必ず乾いた布で拭取る。	有	初期段階より一般生菌が多く 存在していたが電解水後大幅 に減少した。浴槽床同様かなり 菌が多く存在しています。常に 電解水での清掃をお奨めしま す。
10	3階特養汚物室 洗面台蛇口	現状での清掃方法、洗剤 使用状況ご確認ください。	アルカリ性水、酸性水を個々にスプレー ボトルに入れて清掃箇所に噴霧。アルカリ 性水噴霧後はすぐに拭取り酸性水を 噴霧後拭取りを行う。	有	通常清掃での実施がしっかり 行えています。電解水の使用 でも同様の効果があります。汚 物室は常に衛生管理が必要で す。電解水を常に常備し使用し てください。
11	施設1階デイ食堂カウンターまわり 冷蔵庫取手	現状での清掃方法、洗剤 使用状況ご確認ください。	アルカリ性水、酸性水を個々にスプレー ボトルに入れて清掃箇所に噴霧。アルカリ 性水噴霧後はすぐに拭取り酸性水を 噴霧後拭取りを行う。	有	現状の清掃では若干一般生菌 が検出されました。特に問題は 無いと思いますが電解水処理 後は菌数が減少し効果が得ら れました。
12	施設1階デイ食堂テーブル(入口 手前)	現状での清掃方法、洗剤 使用状況ご確認ください。	アルカリ性水、酸性水を個々にスプレー ボトルに入れて清掃箇所に噴霧。アルカリ 性水噴霧後はすぐに拭取り酸性水を 噴霧後拭取りを行う。酸：アル＝1：1の 混合水でも効果はあります。	有	常にテーブルを清潔にされていま すので通常の清掃で問題無い と思われまます。
13	施設1階デイ食堂 水切りカゴ	現状での清掃方法、洗剤 使用状況ご確認ください。	アルカリ性水、酸性水を個々にスプレー ボトルに入れて清掃箇所に噴霧。アルカリ 性水噴霧後はすぐに拭取り酸性水を 噴霧後拭取りを行う。全体的多目に 電解水を使用してください。	有	初期の段階より一般生菌数が 多く存在していた。電解水処理 後大幅に菌が減少し効果が見 られた。

14	施設1階テイ食堂カウンターまわり シンク(左)	現状での清掃方法、洗剤使用状況ご確認ください。	アルカリ性水、酸性水を個々にスプレーボトルに入れて清掃箇所に噴霧。アルカリ性水噴霧後水道水で洗い流してください。噴霧の量が少ない場合はハケツ等多量に使用して下さい。	有	通常の清掃での実施がしっかり行えています。電解水の使用でも同様の効果があります。生野菜、生肉など洗後は電解水使用が良いと思われます。
15	施設1階テイほの 休憩室 ホット(口)	現状での清掃方法、洗剤使用状況ご確認ください。	アルカリ性水、酸性水を個々にスプレーボトルに入れて清掃箇所に噴霧。アルカリ性水噴霧後はすぐに拭取り酸性水を噴霧後拭取りを行う。酸:アル=1:1の混合水でも効果があります。噴霧後乾いた布で拭取る。	有	通常の清掃での実施がしっかり行えています。電解水の使用でも同様の効果があります。
16	施設1階テイ活動部屋テーブル	現状での清掃方法、洗剤使用状況ご確認ください。	アルカリ性水、酸性水を個々にスプレーボトルに入れて清掃箇所に噴霧。アルカリ性水噴霧後はすぐに拭取り酸性水を噴霧後拭取りを行う。酸:アル=1:1の混合水でも効果があります。噴霧後乾いた布で拭取る。	有	常にテーブルを清潔にされていますので通常の清掃で問題無いと思われます。電解水使用でも同等の効果を得られます。
17	施設1階リハビリオレンジ椅子(座面)	現状での清掃方法、洗剤使用状況ご確認ください。	アルカリ性水、酸性水を個々にスプレーボトルに入れて清掃箇所に噴霧。アルカリ性水噴霧後はすぐに拭取り酸性水を噴霧後拭取りを行う。酸:アル=1:1の混合水でも効果があります。噴霧後は乾いた布で拭取る。	有	椅子の座面なのであまり直接手で触れていないと思います。ステンレス部分は電解水での清掃をお奨めします。
18	施設1階東側トイレ取手女性	現状での清掃方法、洗剤使用状況ご確認ください。	アルカリ性水、酸性水を個々にスプレーボトルに入れて清掃箇所に噴霧。アルカリ性水噴霧後はすぐに拭取り酸性水を噴霧後拭取りを行う。酸:アル=1:1の混合水でも効果があります。噴霧後は乾いた布で拭取る。	有	通常の清掃がしっかり行えています。一般生菌が付着しやすい箇所と思われます。電解水使用をお奨めします。
19	施設1階正面玄関内手すり	現状での清掃方法、洗剤使用状況ご確認ください。	アルカリ性水、酸性水を個々にスプレーボトルに入れて清掃箇所に噴霧。アルカリ性水噴霧後はすぐに拭取り酸性水を噴霧後拭取りを行う。酸:アル=1:1の混合水でも効果があります。噴霧後は乾いた布で拭取る。	有	初期の段階より一般生菌数が多く存在していました。電解水使用後は効果があります。頻繁に清掃してください。
20	施設2階 2階 食堂テーブル	現状での清掃方法、洗剤使用状況ご確認ください。	アルカリ性水、酸性水を個々にスプレーボトルに入れて清掃箇所に噴霧。アルカリ性水噴霧後はすぐに拭取り酸性水を噴霧後拭取りを行う。酸:アル=1:1の混合水でも効果があります。噴霧後は乾いた布で拭取る。	有	テーブルは汚れたらすぐに拭取りを行っていると思われます。通常の清掃で問題無いと思われます。
21	施設2階 2階エレベーターホーン(下)	現状での清掃方法、洗剤使用状況ご確認ください。	アルカリ性水、酸性水を個々にスプレーボトルに入れて清掃箇所に噴霧。アルカリ性水噴霧後はすぐに拭取り酸性水を噴霧後乾いた布で拭取りを行う。	有	清掃前、拭取り後も一般生菌数の値は変わりはありませんが頻繁に使用されるホーンです。今後も意識して清掃を行ってください。
22	施設2階 2階階段非常扉裏側取手(真中)	現状での清掃方法、洗剤使用状況ご確認ください。	アルカリ性水、酸性水を個々にスプレーボトルに入れて清掃箇所に噴霧。アルカリ性水噴霧後はすぐに拭取り酸性水を噴霧後拭取りを行う。酸:アル=1:1の混合水でも効果があります。噴霧後は乾いた布で拭取る。	有	普段あまり利用されない箇所です。通常の清掃で問題無いと思われます。

## 【結論】

**\* アルカリ性水、酸性水それぞれ個別にスプレーボトルに入れ通常の清掃で除菌において有効である。**  
**\* 施設内の菌が多く存在している箇所を中心に拭取り検査しましたが大腸菌群の値もなく一般生菌のみ存在しました。特に2階一般浴室脱衣所床、浴室洗面台取手が目立ちました。脱衣所は一般生菌が多く存在します。床は凹凸で清掃範囲も広くスプレーボトルでは量的に無理があります。ハケツなど利用して大量に流して下さい。又、電解水処理後若干放置しておく効果が更にあります。**



## 【参考資料】

平成20年食中毒発生時例

都道府県名等(発生場所)	発生日	病因物質
旭川市	1月1日	細菌-ウエルシュ菌
長野市	1月5日	ウイルス-ノロウイルス
長野県	1月8日	ウイルス-ノロウイルス
富山市	1月9日	ウイルス-ノロウイルス
秋田市	1月12日	ウイルス-ノロウイルス
東京都区部	1月12日	ウイルス-ノロウイルス
石川県	1月12日	ウイルス-ノロウイルス
福岡市	1月12日	ウイルス-ノロウイルス
高知市	1月13日	ウイルス-ノロウイルス
東京都	1月14日	細菌-カンピロバクター・ジェ
東京都区部	1月14日	ウイルス-ノロウイルス
東京都区部	1月15日	ウイルス-ノロウイルス
東京都	1月16日	ウイルス-ノロウイルス
下関市	1月17日	その他
宇都宮市	1月19日	ウイルス-ノロウイルス
東京都区部	1月19日	ウイルス-ノロウイルス
東京都区部	1月19日	ウイルス-ノロウイルス
西宮市	1月19日	ウイルス-ノロウイルス
西宮市	1月20日	ウイルス-ノロウイルス
札幌市	1月24日	ウイルス-ノロウイルス
東京都区部	1月27日	ウイルス-ノロウイルス
東京都区部	1月27日	ウイルス-ノロウイルス
東京都区部	1月27日	細菌-カンピロバクター・ジェ
宮崎市	1月27日	ウイルス-ノロウイルス
東京都区部	1月28日	ウイルス-ノロウイルス
東京都区部	1月30日	細菌-カンピロバクター・ジェ
長野県	1月30日	ウイルス-ノロウイルス
長野県	2月2日	ウイルス-ノロウイルス
三重県	2月2日	ウイルス-ノロウイルス
東京都区部	2月5日	細菌-ウエルシュ菌
西宮市	2月12日	ウイルス-ノロウイルス
長野県	2月17日	細菌-ウエルシュ菌
愛知県	2月19日	ウイルス-ノロウイルス

### コメント

\* 昨年12月15日頃からノロウイルスによる食中毒の報告が増加してきた。  
 学校の食中毒では原因食品である肉と野菜の炒めからノロウイルスが検出され、  
 冷蔵庫取手の拭取り検査からもノロウイルスが陽性です。  
 ケーキ店の食中毒では学校給食に提供されたケーキで従業員からもノロウイルスが検出され、  
 食中毒事例のなかで従業員から多々ノロウイルスが検出されている。